

機械科学専攻	研究分野	精密加工	Lab. ID ME08
研究室Webサイト		https://manufac.w3.kanazawa-u.ac.jp/	
研究課題の概要			
精密加工研究室は、先端加工研究室と生産加工システム講座を形成し、ものづくりにおいて重要となる生産加工技術について研究を行っている。本研究室では各種加工技術の中で特に、代表的な機械加工技術である切削加工、特殊加工に分類される放電加工、電解加工についての研究を行っている。実験的アプローチ、シミュレーション、機械学習など、様々な手法を駆使することで、難削金属材料から脆性材料に至る種々の材料の高精度・高能率な加工手法の確立、および各種加工現象の解明を目指している。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
研究テーマの多くが企業との共同研究や、国や財団から研究助成を受けているものである。そのため、自らの研究テーマに対して責任を持って取り組むとともに、周到な研究計画必要がある。研究の進捗状況は、月に1度、研究会においてプレゼン形式で報告し、研究室の教員および学生全体で議論する。各学生は、研究会でのプレゼンに向けて計画的に実験・データ整理、プレゼン資料準備を行う。また、必要に応じて主任指導教員と研究の進捗状況について打ち合わせを行う。得られた研究成果は、国内学会や国際学会で積極的に発表を行う。 博士前期課程の学生は、提示されたテーマの中から希望するものを選択して取り組む。与えられた研究テーマに対して自主的かつ能動的に取り組む、課題に対する解決方法を自ら考え、実行し、研究者としての基礎力を身に付けることを目標とする。博士後期課程の学生は、3年間の課程を視野に入れながら主任指導教員と相談してテーマを決定する。博士前期課程の学生と同じく自主的に研究を進めるのはもちろんのこと、研究の過程で課題を新たに探し出し、自ら新しいことに挑戦する能力が求められる。			
研究室生活の紹介等			
コアタイムは10:00から17:00。研究会は週に一回で、月に一度、15分程度のプレゼン形式で発表を行う。また、研究以外にも次のようなイベントを行っている。 歓迎会、ボーリング大会、暑気払い、バーベキュー、研究室対抗ソフトボール大会、忘年会、謝恩会			
教員からのメッセージ			
学会発表は参加すれば必ず自分の実力が伸びていきますので、積極的に参加してください。また、指示されたことだけをやるのではなく、自分の頭で考え、試行錯誤をしながら自主的に研究を進めていくことが大切です。			
研究室連絡先メールアドレス		小谷野智広<koyano *at* se.kanazawa-u.ac.jp>	